要　望　書

千葉県我孫子市

平成２７年１０月１９日

農林水産大臣　森山　裕　様

千葉県我孫子市長　星野順一郎

日頃より、我孫子市政につきまして、格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

今般、本市における農業・農山漁村の活性化及び振興に関し、別紙のとおり要望させていただきますので、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成２８年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金に関する要望

農山漁村は、心豊かな暮らしと自然、文化、歴史を大切にする良き伝統を代々伝え、我が国にとってかけがえのない存在となっています。

しかし、少子高齢化等の急速な進行や所得の減少、都市部に比べて生活環境の整備が遅れていることなどから、地域としての活力の低下傾向が続いています。

我孫子市においても、農業が重要な産業であるにもかかわらず、農村地域においては、農家の所得低迷と後継者不足、農業従事者の減少が深刻な問題になっています。

また、東日本大震災においては、我孫子市は「特定被災区域」に定められ、復興に向け市を挙げて取り組んできているところですが、福島第一原子力発電所の事故においても、放射能問題は本市の農業・農村に重大な影響を与え、今なお、国による「たけのこ」と「原木シイタケ（露地）」の出荷制限が解除されない中で、風評等による農業へのダメージが払しょくされていません。

さらに、本市にとって、産業・観光その他の重要な資源となっている手賀沼も同様の影響を受け、底泥では依然として高濃度の放射性物質が検出される中で、今なお、ギンブナ、コイ、ウナギは国から出荷制限を受け続けており、その他の食用魚種についても、関連２漁協は出荷自粛を余儀なくされています。

このような中、農産物直売所等の受入機能強化施設の整備により農業・農村の活性化を図るべく、本市が作成した「手賀沼利根川周辺地域活性化計画」について「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」の交付対象計画として採択いただき、交付決定をいただいた「平成２７年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」をもとに施設整備の実施設計を進めているところでございます。

本市財政事情が非常に厳しい中で、平成２８年度においてもぜひとも当該農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用させていただき、当該活性化計画の内容に沿った施設及び備品・設備の整備を行い、本市農業・農村の活性化を図りたいと存じますので、平成２８年度予算に係る交付金の運用にあたりましては、震災後の本市の厳しい事情を斟酌のうえ交付決定願いたく、特段のご高配を賜りますようお願いいたします。